とかりしはいやうに信まくるし將軍まで出遠慮何
る事也あし小袖の諫言を御附ありし　家康公
御意悲の袖雖有落後なりと宣ひしと也

武田信玄死去の事

武田信玄死去の事　源君は少々召物に殘念也信玄ハ
家康ゟ弓矢の師道也隣國の無氣能ありとは
信と也能小其出家中の悦及出の民百姓も出法なり
と也誠後ハ北条家ゟ信玄死去の事　吉原謙信ハ折長
食事を調いたまり諸が驚く箸を落し落後

せらるゝより近臣に故を問へハ信玄を古今の名將也
我信玄と十四年の合戰に甲乙なきと我武名天下
に秀諸將我を恐懼す信玄死後ハ誰に對しく我武
名を何らかしを無し謙信ゟ弓矢も是迄なりと申
し也

宇治井源之丞事

長久手合戰に御旗本宇治井源之丞ハ鹿を煩居しるが
今日出陣と呼ばくし思ふに其後數日の鹿まく
身体勞ましもし此後まく死量しまを無念也しく